

PCi- USERS MANUAL

PLANEX SMART SERVER

PLASMA 2000 pro

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

PCI-
USERS MANUAL
PLANEX SMART SERVER

PLASMA 2000 pro

警告

異状と思われたら電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

もし、本体から異常な臭いがしたり、異常音、加熱、発煙したときはすぐに電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて下さい。そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。弊社サポートセンターまでご連絡下さい。

本製品及の分解・改造は行なわないで下さい。

火災や感電のおそれがあります。また、製品のカバーを空けた場合は、弊社の保証対象外になります。

電源コードは傷つけないで下さい。

電源コードを傷つけたり、破損した場合は、速やかに弊社サポートセンターに連絡願います。そのまま、使用しないで下さい。もし、故意に加工した場合は、保証外になります。電源の破損は、感電、火災の原因になります。

本製品は衝撃を与えないで下さい。

本製品を倒したり、落としたりしないで下さい。万が一、強い衝撃を与えた場合は使用を中止して弊社サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

電源ファンはふさがないで下さい。

製品の電源ファンの通風孔をふさがないで下さい。誤動作、故障の原因になります。

弊社製品には万全を期してますが、万が一ご不審な点があれば、弊社サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

近くに液体の入った容器を置かないで下さい。

液体が零れて内部に入ると、感電の恐れがあります。もし、液体が内部に入った場合は、すぐに電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて下さい。そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。弊社サポートセンターまでご連絡下さい。

電源プラグは確実に挿して下さい。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に挿し込まないと、感電、火災の原因になります。

電源プラグはAC100Vコンセントに挿して下さい。

100V以外のコンセントに挿し込むと火災等の事故につながります。

注意

データの保存、及びサーバとして運用中に電源を切らないで下さい。
データの消失の恐れがあります。

濡れた手で電源コードのプラグを抜き差ししないで下さい。
感電する可能性があります。

ハードディスクのデータは万が一に備え、必ず、Windows経由でデータを定期的に保存して下さい。

免責事項

火災、自身、第三者による行為、事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異状と思われる条件での使用により発生した損害に関して弊社は一切責任を負いません。

ユーザーズマニュアルの記載事項を守らないことにより生じた損害に関して、当社では一切責任を負いません。

本製品の使用または、使用不能から生じて付随した損害(事業の中断、事業利益の損失、記憶内容の変化、消失等)に関して一切責任を負いません。

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

必ずお読みください

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第2章 ハードウェアの設定

本製品の設置場所、設置方法について説明します。必ずお読みください。

第3章 PLASMA2000の起動と終了

PLASMA2000へのログイン、シャットダウンについて説明します。

第4章 簡易設定

本製品の簡易設定方法、専用線接続方法について説明します。

第5章 メンテナンス

本製品のバックアップ、サービスについて説明します。

第6章 その他

本製品の注意事項、保証規定、修理/交換、仕様について説明します。必ずお読みください。

《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。
区別が必要な場合は製品型番で表記します。

目次

第1章	はじめに	
	1.概要	1
	2.特長	2
	3.梱包内容の確認	3
	4.各部の名称	3
第2章	ハードウェアの設定	
	1.設置場所	5
	2.設置方法	5
第3章	PLASMA2000の起動と終了	
	1.PLASMA2000へのログイン	7
	2.PLASMA2000へのシャットダウン	9
第4章	簡易設定	
	1.クイックセットアップ	31
	2.専用線接続 (OCN/ODN)	35
第5章	メンテナンス	
	1.バックアップ	45
	2.ログの確認	46
	3.その他のサービス	47
第6章	その他	
	1.Cybozu Office2 試用品	49
	2.注意事項	49
	3.保証規定	50
	4.修理/交換	51
	5.仕様	51

はじめに

1. 概要

ウェブ、メール、ファイル共有 (SAMBA、NATATALK)、DNS、DHCP、IPマスカレード、ファイアウォール、FTP、PPP、ユーザー登録管理、ステータス確認、ログ参照等サーバ機能を満載しています。

万が一のクラッシュに備えて、Windowsからのバックアップ/リストアが可能です。

設定ソフト「PLASMA」で設定した内容は、簡単にバックアップ/リストアが可能です。また、日付単位で保存できますので管理が容易です。

PLASMA2000の機能はすべて、Webブラウザ経由から簡単に設定できるユーティリティソフト「PlanexSmartManager」がバンドルされてます。これにより、サーバ管理者の煩わしい作業を軽減出来ます。

2. 特徴

ハードウェア

1. 本体サイズが、290(W)×225(D)×53(H)とコンパクトです。またスタンドが添付されているので縦置きも可能で設置場所に困りません。
2. 消費電力が低い為、連続運用に向いています。

ソフトウェア

1. RedHat 6.0を必要最小限でコンパクトにまとめてますので、OSの動作に負荷が軽減されます。
2. HDDは、システム領域/(ルート)、ユーザー領域(home)、ログ領域(var)に分割しユーザーのアクセスする領域をシステム領域に干渉しないように設計されてます。
3. Windowsパソコンとネットワーク接続する事により、Windowsのブラウザソフト(インターネットエクスプローラーやネットスケープナビゲーター)から、各サーバーサービスの設定が出来ます。
4. 通常Linuxでのサーバーサービスの設定は、設定ファイルを書き換え、サービスのリスタートをする事により設定する為、面倒で難解でした。管理者は設定や管理に多くの時間を費やしたと思います。PLASMA2000はブラウザ上から簡単に設定できますので、作業が楽になり、またオンラインマニュアルをその場で確認できますので、多少ネットワークの知識があれば直ぐ設定が出来ると思います。
5. メールサーバーは、Sendmailよりセキュリティレベルが高く簡単に設定出来る、QMAILを採用しました。

3. 梱包内容の確認

PLASMA2000本体
電源ケーブル
縦置きスタンド
このユーザズ・マニュアル
RJ45ツイストペアケーブル
保証書

4. 各部の名称

●前面図

電源スイッチ



●背面図

電源ファン

電源コネクタ

ディスプレイコネクタ

シリアルポート

パラレルポート

イーサネット

キーボードコネクタ

マウスコネクタ



ハードウェアの設定

1. 設置場所

PLASMA2000を設置する際には、以下の点にご注意下さい。

湿気の多い場所に置かないで下さい。

チリやほこりの多い場所には置かないで下さい。

直射日光の当たる場所や温度の高い場所には設置しないで下さい。

極端に低音になる場所には設置しないで下さい。

急激な温度変化を与えないで下さい。

内部に熱がこもる原因になりますので、周囲になるべく空間を空けて下さい。特に背面の電源ファンを塞がないようにご注意ください。

本体を縦置きにする場合、必ず製品添付のスタンドを使用し安定した場所に設置して下さい。

2. 設置方法

本製品をネットワーク接続する。

1. 本体背面のLANポートに、RJ45ツイストペアケーブルを接続して下さい。(クロスケーブルのピアツーピア接続はお勧めできません)
2. 接続したケーブルを10BASE-Tまたは10BASE-T/100BASE-TX自動認識のHUBに接続してください。100BASE-TX固定のHUBには接続しないで下さい。通信ができません。

3.同一ネットワーク上に以下のIPアドレスを固定で設定したサーバや、ルーター等のネットワーク機器がある環境には接続しないで下さい。また、DHCPサーバのある環境にも接続しないで下さい。上手く通信が出来ません。ただし、後で設定を変更すれば可能です。

- ・IPアドレス 192.168.1.1
- ・サブネットマスク 255.255.255.0

4.同一のネットワークにWindows95/98がインストールされたパソコンを接続し、TCP/IPが組込まれている事を確認して下さい。

本製品にキーボード、モニタ、を接続

- 1.本製品にキーボードを接続する場合は、本体背面のキーボードコネクタにPS/2タイプのキーボードを接続して下さい。
- 2.本製品にモニタを接続する場合は、本体背面のディスプレイコネクタに接続して下さい。(モニタはVGA対応のものをお使い下さい)

電源ON/OFF

<電源ON>

本製品に付属の電源ケーブルを本体に挿し込み、電源プラグをコンセントに挿し込み、キーボード、モニタを接続した状態で、電源スイッチを押して、正常に動作する事をご確認下さい。

電源を入れて、RedHat Linuxが起動するまで、約2分かかります。ただし、数回に一度、ハードディスクの検査が入りますので、もう少し時間がかかる事があります。検査に要する時間はハードディスクの容量により異なります。容量が多ければ多いほど時間がかかります。

<電源OFF>

電源を切る時は必ず、Linuxをシャットダウンしてから電源スイッチを押して下さい。本体にモニタを接続していない場合は、シャットダウンの操作を行ってから数分間待ち、シャットダウンが確実に終了してから電源を切ってください。

PLASMA2000の起動と終了

1. PLASMA2000へのログイン

本体にキーボード、モニタを接続した場合は、以下のような画面が表示されます。ここで、以下のユーザ名とパスワードを入力してログインして下さい。(下線部分が実際に入力する部分です)

----- 表示画面 -----
Red Hat Linux release 6.0 (Hedwig)
Kernel 2.2.5-15 on an i486
Server login :

以下のユーザ名とパスワードを入力して下さい。

----- 入力例 -----
server login: root
Password : password

▲ 注意

ここで、入力したパスワードは実際には何も表示されません。ログインに成功すると以下のような文字が表示されます。(日付は異なります)

----- 表示例 -----
server login: root
Password :
Last login : Thu Dec 16 15:32:37 on tty1
[root@server /root]#

ここで、シャットダウンする場合は、以下のようにコマンドを入力します。

```
-----  
[root@server /root]# shutdown -h now  
-----
```

本体にモニターを接続している場合は、Power Down .が表示された事を確認してから電源を切ってください。

注意

再起動するには、reboot と入力するか、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押して下さい。

PLASMAツールの起動

- 1.PLASMAツールを起動するには、同一ネットワークにWindows95 /98/NT等がインストールされたパソコンが必要です。また、Webブラウザソフトがインストールされてなければなりません。(詳細は、ハードウェア設定の設置方法をご確認下さい。)
- 2.Windowsがインストールされているパソコンからブラウザソフトを起動して下さい。
- 3.URL(IE4.0の場合はアドレスの指定欄、netscapeの場合は場所の指定欄)に以下のアドレスを入力して下さい。
 - ・ http://192.168.1.1:98/

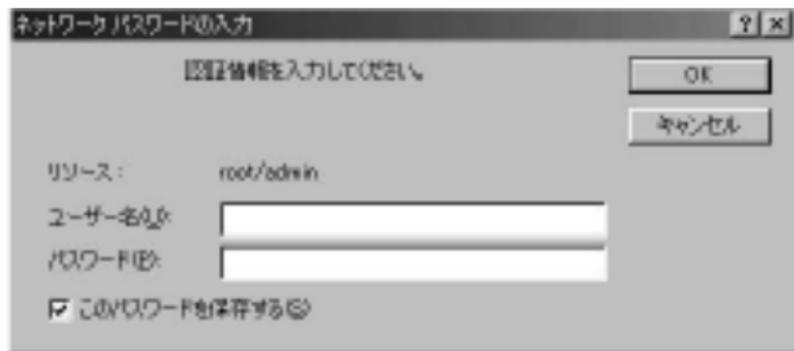
4. Planex Smart Serverのスタート画面が表示されます。



2. PLASMA2000のシャットダウン

1. PLASMA2000のシャットダウンの方法は2通りあります。一つが、キーボード、モニタ、を接続してShutdown コマンドを入力して停止する方法でもう一つが、Webブラウザからネットワーク経由で停止する方法です。シャットダウンコマンドでPLASMA2000を停止するには、PLASMA2000へのログインをご確認下さい。
2. Webブラウザを使用してネットワーク経由でシャットダウンするには、PLASMAツールの起動を確認し、PLASMAツールの設定画面を表示させて下さい。表示された画面から、ADVANCED をクリックして下さい。

3.以下の画面が表示されます。



4.ユーザー名とパスワードの問い合わせがありますので、ユーザー名に管理者のID、パスワードに管理者のパスワードを入力して、OK ボタンをクリックして下さい。

PLASMA2000の場合、初期設定のユーザー名は「root」、パスワードは「password」になっています。

5.メインメニューが表示されますので、コントロールパネルをクリックします。



6.表示された画面から、シャットダウン/再起動 をクリックして下さい。



7.以下の画面が表示されます。



8. ラジオボタンで、再起動とシャットダウン を選択できます。ここでは終了なので、シャットダウンをチェックして下さい。もし、再起動する場合は再起動をクリックして下さい。
9. シャットダウン実行までの時間(分)は、特に指定する必要が無ければデフォルトの 0 のまま、Accept ボタンをクリックして下さい。確認メッセージは、PLASMA2000にネットワーク接続されたパソコンに終了のメッセージを送ります。

シャットダウンには約 1 分かかります。1 分間待ってから、前面パネルの電源スイッチを押して電源を切して下さい。

10. Netscape Navigator をご使用の場合、以下のメッセージが表示されます。

「ドキュメントにデータが含まれていません。あとでやり直すかサーバーの管理者にお尋ね下さい」

また、Internet Explorer 4.0 の場合は、以下のメッセージが表示されます。

「インターネットサイト <http://192.168.1.1:98/html/ok==Control=panel/ok==Shutdown==Reboot/> を開けません。無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しました」

これは、PLASMA2000が終了しネットワークから切断された為に表示されるものなので、特に障害ではありません。

工場出荷状態の各設定ファイルの保存

設定をはじめる前に、各サーバサービスの設定ファイルを保存しておく事をお勧めします。以下にその手順を説明します。

- 1.メインメニューからコントロールパネル アイコンをクリックします。



- 2.表示された画面から、設定ファイルの保存と復元 をクリックします。



- 3.表示された画面から、backup configuration file をクリックします。



4.次に表示されたメニューは現在、保存されている情報とバックアップ開始の画面です。初めて、ご使用の場合や一度も、保存されていない場合は、以下の図のようになっています。



- 5.ここで Start backup をクリックすると設定ファイルの保存が始まります。終了すると、complete と表示されます。また、左上に backup list と表示されますので、ここをクリックすると、以下のように、保存した日付が表示されます。



- 6.ここで、再度、設定する場合は、Start backup をクリックして下さい。バックアップ取得した日付が更に下に追加されて表示されます。

▲ 注意

ファイルの保存には、約1分かかります。万が一、1分以内に終了しても再度、バックアップを開始しないで下さい。これは、保存したデータを分単位で管理している為です。また、保存したデータは、必ず、外部メディアにコピーして保管する事をお勧めします。

データの保存場所は、/tmp/configbkです。その下に保存した日付のディレクトリができますので、その下の、data001.gz、data002.gz、data003.gz、data004、data005、data006、data007、data008、data009 がその該当ファイルです。

Webブラウザで設定している場合は、SAMBAでフォルダを共有してリムーバブルメディア等にコピーして下さい。設定ファイルの復元については、PLASMAツールのHELPをご参照下さい。

基本設定

- 1.本体に接続されたネットワークアダプタのIPアドレス、ホスト名、DHCPサーバからIPを取得するか等のホストの設定を行ないます。
- 2.初めにPLASMAツールを起動します。
- 3.最初の画面で、AdvancedボタンをクリックしたあとユーザーIDとパスワードを入力し、メインメニューを表示させます。
- 4.表示された画面から、ネットワーク設定をクリックして下さい。



5.表示されたメニューの基本設定をクリックして下さい。



6.以下の画面が表示されます。



7.各設定項目について説明します

<ホストネーム>

PLASMA2000のホストネームを入力します。

<有効>

アダプタを有効にするかどうかの設定です。ネットワークに接続する場合は、必ずチェックして下さい。

<設定モード>

手動設定

IPアドレスを直接、指定する場合は、ここをチェックします。

DHCP

同一ネットワーク上のDHCPサーバからIPアドレスを取得する場合は、ここをチェックします。

BOOTP

同一ネットワーク上のBootp サーバーからIPを取得する場合は、ここをチェックします。

ホスト+ドメイン名

ここはFQDN(完全ドメイン名)の設定です。PLASMA2000のデフォルトでは、server.localdomain.comになっています。正式なドメイン名を取得した場合や、任意にドメイン名を変更したい場合はここで変更します。

エイリアス(opt)

ここはPLASMA2000のデフォルト値がserverになっています。これは、上記、ホスト名 + ドメイン名の別名になります。

IPアドレス

ここは、ネットワークアダプタに設定するIPアドレスになります。PLASMA2000のデフォルトは、192.168.1.1 になっています。

ネットマスク(opt)

ここは、上記IPアドレスのサブネットマスクを指定します。サブネットマスクの詳細はヘルプの「用語の説明」をご確認下さい。PLASMA2000のデフォルトでは、255.255.255.0 となっています。変更したい時はここで設定して下さい。

最下部のAccept ボタンをクリックすると設定が更新され、内容が反映されます。設定を取り消したい場合は「戻る」をクリックして下さい。最後に、PLASMA2000を再起動して下さい。

⚠ 注意

PLASMA2000に搭載されてるアダプタは、1枚です。アダプタ2は、パッケージ版の「PlanexSmartManager」を購入された方が自分のパソコンに2枚目のネットワークカードを装着された場合のために用意されています。

ユーザー登録

PLASMA2000にログインするユーザーを登録します。

1. メインメニューからユーザー・グループの作成/変更をクリックします。



2.表示された画面からユーザーの作成/変更をクリックします。



- 3.以下の画面が表示されます。ここには現在登録されているユーザーが表示されます。新しく登録した場合もここに表示されます。ここで、ユーザーをクリックするとユーザーの設定情報を確認できます。



4.下にあるADDボタンをクリックすると新規ユーザー登録画面が表示されます。



5.以下に各設定項目について説明します。

<このアカウントを有効にする>

ここは、必ずチェックして下さい。

<ログイン名>

登録するユーザーのログインIDを入力します。

<フルネーム>

ユーザーの氏名を入力します。

<group(opt)>

ここは登録ユーザーが所属するグループ名を指定します。通常自動的に入力されます。

<他のグループ>

他に所属するグループがあったら入力します。省略可。

<ホームディレクトリ>

ユーザーのホームディレクトリを指定します。これは、ログイン時に初めに位置するディレクトリです。通常自動的に入りますが、/home 以下のユーザー名にします

<ユーザーシェル>

ユーザーが使用するシェルの設定です。(ここは、デフォルトにしておいて下さい)

<UID>

UserIDは自動で入力されます。変更する場合は、他のユーザーIDと異なるように設定します。変更しない事をお勧めします。

<最終更新日>

パスワードが更新された最後の日付が表示されます。

<x日間変更不可>

指定した日数は、ユーザーによるパスワードの変更を禁止します。無効にするとユーザーによるパスワードの設定変更が出来なくなります。

<x日後に変更が必要>

指定した日数の日になるとパスワードの変更を要求されます。

<期限のx日前に警告>

指定した日になると、何日後にパスワードを変更するように警告されます。無効にすると警告されません。

<x 日後にパスワード期限>

指定した日にパスワードが期限切れになります。無効にするとパスワードは無期限になります。

<アカウント使用期限(yyyy/mm/dd)>

ここで設定したアカウントの使用期限を設定します。yyyy/mm/dd形式で入力してください。

6. 以上の内容で設定するにはAcceptボタンをクリックします。設定内容を取り消したい場合は、上のPLASMA1.00をクリックして下さい。また、既に設定されているユーザー情報を削除するには、「Delete」をクリックして下さい。登録されているユーザーのパスワードを変更する場合は、「Password」をクリックして下さい。以下の7と同じ画面が表示されます。
7. 次の画面でYes、Noの問い合わせがありますので、Yesをクリックして登録します。その後、以下の画面が表示されます。



- 8.ここで、設定するユーザーのパスワードを入力します。デフォルトでは、英文字+数字の6バイト以上です(デフォルトを変更するには、ユーザー・グループの作成/変更からユーザー基本設定で変更できます。)Acceptをクリックすると以下の画面が表示されます。



- 9.ここで、確認の為に上記で入力したパスワードを再度、入力して下さい。

Acceptをクリックすると前画面に戻り設定が反映されます。複数ユーザーを登録する場合は、再度、繰り返して下さい。

管理者パスワードの変更

管理者 (root) のパスワードを変更するには PLASMA ツールの初めの画面から、ADVANCED をクリックします。以下の画面が表示されます。



- 1.ユーザー・グループの作成 / 変更をクリックして下さい。以下の画面が表示されます。



- 2.管理者パスワードの変更をクリックします。以下の画面が表示されます。



3. 管理者 (root) のパスワードを入力します。(パスワードは、英文字 + 数字 6 文字以上にして下さい。)ACCEPT をクリックすると以下の画面が表示されます。



4. 確認の為、再度上記で入力したパスワードを入力してAccept をクリックします。

設定内容が反映され前画面に戻ります。PLASMA2000を再起動して下さい。

簡易設定

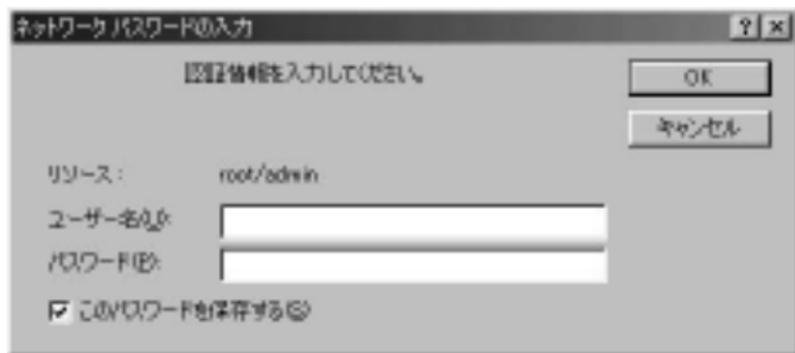
1. クイックセットアップ

PLASMA2000を簡単に設定する為に、クイックセットアップをご用意致しました。ここでは、IPアドレスとホスト名の変更、モデム設定、ルーターのIP設定、IPマスカレード、DNSサーバの指定(名前の解決の為に、同一ネットワーク上に存在するDNSサーバを指定)、DHCPサーバ(同一ネットワーク上のDHCPサーバからIPアドレスを取得する方法)、ユーザ登録が出来るようになっています。また、用語の説明も用意してあります。以下にそれらについて説明します。

1.PLASMAツールを起動し、Quickをクリックします。



2.以下のパスワードの画面が表示されます。



3.PLASMA2000の初期状態では、ユーザー名が、root、パスワードが、passwordになっています。入力したら、OKをクリックします。以下の画面が表示されます。(表示されない場合があります)



- 4.この画面の左側の項目を、用語の説明の下から、順番にクリックして設定します。ここでは、IPアドレスとホスト名の変更を例に説明します。左側のフレームのIPアドレスとホスト名の変更をクリックすると、以下のような画面が表示されます。



5. 右上のフレームにここでの設定について説明が表示されます。このフレームの右端をスクロールすると、以下の画面のように「GO」ボタンが表示されます。



6. 説明を読んで「GO」をクリックすると、右下のフレームに設定画面が表示されます。



7.各設定の詳細については、画面をスクロールさせると、HELPボタンが表示されますので、ここを、クリックしてご確認下さい。

設定が終了したら、設定画面の中のACCEPTをクリックします。次に、今行なった手順で残りの設定をします。(右側のフレームの 2.モデム設定に進んで下さい)

すべての、設定が終了したら設定終了をクリックして下さい。最初の画面に戻ります。

2. 専用線接続 (OCN/ODN)

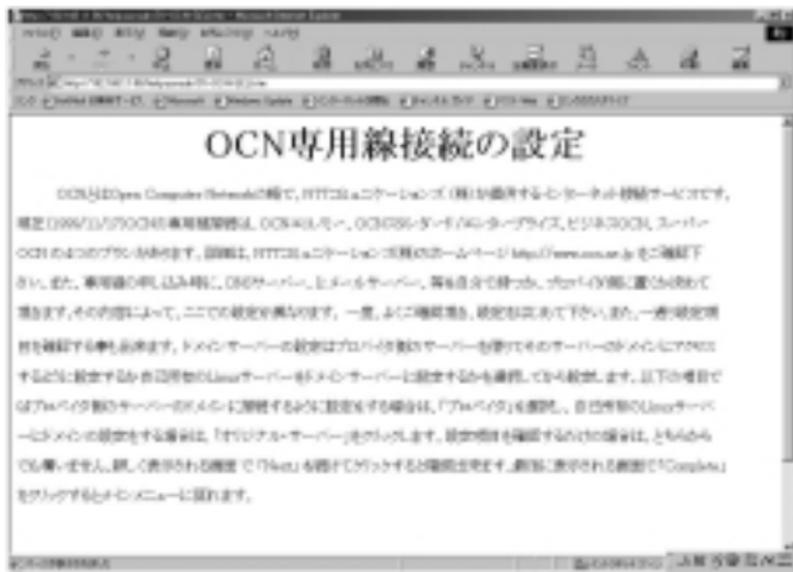
デジタル専用回線を使用して、専用線接続する場合、別途ルーターが必要になります。ルーターからHUBを経由して、PLASMA2000のETHERNETコネクタに接続してインターネットに接続します。OCN、ODNでの専用線対応のルーター等をご用意頂ければ、後は申し込みをして設定するだけです。

ただし、UPS(無停電電源装置)や、バックアップ用のデバイスは、別途、必要になります。

PLASMA2000を使って、専用線接続(OCN、ODN等)する場合の設定について説明します。

OCN/ODNでの接続

PLASMAツールを起動し、OCN、または、ODNをクリックします。OCNもODNもSERVER側の設定は基本的には同じ設定ですので、ここでは、OCNについて説明します。初めの画面から、OCNをクリックします。



- 1.OCNについての説明が表示されます。ここでは、DNSサーバをプロバイダ側に置くか、PLASMA2000をDNSサーバ、に設定するかを選択しなければなりません(OCN契約時によく確認して下さい)、画面をスクロールすると以下のようなボタンが表示されます。



2. プロバイダ側にDNSサーバを置く場合は、PROVIDER を、PLASMA2000をDNSサーバにする場合は、ORIGINAL DOMAIN をクリックします。初めに、ORIGINAL DOMAINを例に説明します。



3. 管理者のユーザー名とパスワードの要求があります。PLASMA2000の初期状態では、ユーザー名がroot、パスワードがpasswordになっています。入力後、OKをクリックすると以下の画面が表示されます。



- 4.ここでは、PLASMA2000のドメインの設定をします。上に説明が表示され、下に実際に設定する画面が表示されます。ここで設定する場合は、下の画面でADDをクリックして設定後、上の画面でNEXTをクリックします。設定しないで、画面を進める時も、NEXTをクリックします。もし、戻る場合は、BACKをクリックして下さい。NEXTをクリックすると以下の画面が表示されます。



5.ここでは、IPアドレスとホスト名の設定をします。上に説明が表示され、下に実際に設定する画面が表示されます。ここで設定する場合は、下の画面で設定後、ACCEPTをクリックし、上の画面でNEXTをクリックします。設定しないで、画面を進める時も、NEXTをクリックします。もし、戻る場合は、BACKをクリックして下さい。NEXTをクリックすると以下の画面が表示されます。

設定項目の詳細は、画面上のHELPをご確認下さい。



- 6.ここでは、ルータのIP登録の設定をします。上に説明が表示され、下に実際に設定する画面が表示されます。ここで設定する場合は、下の画面で設定後、ACCEPTをクリックし、上の画面でNEXTをクリックします。設定しないで、画面を進める時も、NEXTをクリックします。もし、戻る場合は、BACKをクリックして下さい。NEXTをクリックすると以下の画面が表示されます。



7.ここでは、メールサーバの設定をします。PLASMA2000をメールサーバに設定する場合はここで設定します。もし、プロバイダ側にメールサーバを置く場合は、ここの設定は必要ありません。画面の上に説明が表示され、下に実際に設定する画面が表示されます。ここで設定する場合は、下の画面で設定後、ACCEPTをクリックし、上の画面でCompleteをクリックします。設定しないで、終了する場合も、Complete をクリックします。もし、戻る場合は、BACKをクリックして下さい。NEXTをクリックすると以下の画面が表示されます。また、1の画面で、Providerをクリックした場合、初めに表示される画面は以下のようになります。



8.ここで設定する内容はプロバイダ側のdnsサーバについてです。設定方法は上記で説明した内容と同じになります。

最後に、PLASMA2000を再起動して下さい。

メンテナンス

1. バックアップ

PLASMA2000には標準で、Windowsとのファイル共有にSAMBAが組込まれています。SAMBAを利用して、Windowsのバックアップツールを使用する事により、PLASMA2000に作成した、HDDのデータのバックアップができます。バックアップの方法は、PLASMAツールの設定画面から、HELPをクリックすると表示される画面で確認できます。HELPの目次の、3.データのバックアップとリストアを選択すると以下の画面が表示されます。よく確認してバックアップを開始して下さい。



2. ログの確認

PLASMAツールを起動して、起動時のログと設定変更ログを確認する事ができます。ログを確認する事により、障害時の問題解決に役立てる事ができます。PLASMAツールの初期画面から、ADVANCEDをクリックして、ログ閲覧をクリックすると、以下の画面が表示されます。それぞれのログは、日付毎に確認する事ができます。以下は、起動ログのサンプルです。



3. その他のサービス

SAMBA

Windowsとのファイル共有は、PLASMA2000の初期状態の場合、ワークグループ名をMygroup、IPアドレスを192.168.1.2 ~ 192.168.1.254の間、サブネットマスクを255.255.255.0 に設定すると、デスクトップ上のネットワークコンピュータにServerというコンピュータが表示されます。ここに自分のフォルダを表示させ、データを保存するには、ユーザー登録して、そのユーザーIDとパスワードでWindowsにログオンすると可能になります。詳細は、PLASMAツールのHELPをご確認下さい。

NETATALK

PLASMA2000とマッキントッシュパソコンでファイル共有する為に、NETATALKが組込まれてます。詳細は、PLASMAツールのHELPをご確認下さい。

APACHE

PLASMA2000にはWebサーバとして運用する為に、APACHEが組込まれてます。詳細は、PLASMAツールのHELPをご確認下さい。

ファイアウォール

PLASMA2000は標準でファイアウォールの設定が可能です。詳細は、PLASMAツールのHELPをご確認下さい。

その他

1. Cybozu Office2 試用版

PLASMA2000には、標準でサイボウズ社の「Cybozu Office2 試用版」が組込まれています。

ブラウザソフトを起動して以下のアドレスを入力して下さい。

<http://192.168.1.1/cgi-bin/cb2/office.cgi?>

または、

<http://www.corp.cybozu.co.jp/cgi-bin/cb2/office.cgi?>

尚、詳細は、サイボウズ株式会社 様のホームページをご確認下さい。

http://cybozu.co.jp/cb2/support/install/unix_CBinstall.html

2. 注意事項

PLASMAツールを使用中、以下の記号が表示される事があります。



この"! "マークは、エラーではありません。
設定を継続する事は可能です。



一度「戻る」をクリックして、再度、設定を行って下さい。

電源を切る時は必ず、必ずシャットダウンをしてから、電源スイッチを切って下さい。

起動時に数回に一度は、HDDのスキャンが実行されます。この時、電源を切ると故障の原因になります。ご注意ください。

PLASMAツールは、パッケージソフトとして単体販売を予定しております。このため、オンラインマニュアルはパッケージ版と併用しております。

3. 保証規定

<日本国内のみ保証>

PLASMA2000は日本国内で購入した場合のみ保証の対象になります。

<保証期間>

ご購入後、一年間とさせていただきます。(基本的に、お客様のお手元に届いてから一年間になります)

<ソフトウェアについて>

PLASMA2000には、RedHat Linux6.0 と、PLASAMAツール「Planex Smart server」がインストールされています。これらは以下の状態で保証致します。

- 1.インストールされている、PLASMAツールはお客様がお買い上げ頂いたPLASMA2000でのみ保証致します。
- 2.商用ソフトを譲渡、貸与、中古取引、再使用許諾、レンタル、リースする事は出来ません。

4. 修理/交換

保証期間内の修理

初期不良はお買い上げ頂いてから一ヶ月とさせていただきます。

弊社ではオンサイトサポートはございません。基本的にセンドバック方式とさせていただきます。

本体輸送時のトラブルによるデータの消失、その他の損害に対する保証は一切行ないません。

海外からの修理品送付はお受けできかねます。日本国内からお送り下さい。

ハードディスクの故障によるデータの復旧は受けられません。必ず、お客様自身でデータのバックアップを行なって下さい。

化粧箱は捨てないで下さい。修理品の返送時に必要になります。

5. 仕様

ハードウェア

<メモリ>

64Mb

<ビデオコネクタ>

VGA D-sub15ピン x 1

<キーボードコネクタ>

PS/2ミニDIN6ピン x 1

<マウスコネクタ>

PS/2ミニDIN6ピン x 1

<ネットワーク>

10BASE-T RJ-45 x 1

<シリアル>

RS-232c D-sub 9ピン x 1

<パラレル>

D-sub 25ピン x 1

ソフトウェア

<Linux デストリビューション>

RedHat Linux 6.0

<WWWサーバ>

apache 3.6

<DNSサーバ>

BIND 8.2

<メールサーバ>

QMAIL 1.03

<FTPサーバ>

ftpd 0.10

<PPP>

PPP 2.3.7

<DHCPサーバ>

dhcpcd 2.0B1PL6

<Windowsファイル共有>

SAMBA 2.0.5A

<Macファイル共有>

Netatalk 1.4b2+asun 2.1.3

<IPマスカレード>

<ファイアウォール>

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいませようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/>

弊社へのお問い合わせ

弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

PCIダイレクト

<http://direct.planex.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

ご質問/お見積もりフォーム

<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

お問い合わせフォーム

<http://www.planex.co.jp/support/techform/>

受付：24時間

電話

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

* 祝祭日および弊社規定の休業日を除く

FAX

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

お問い合わせ前のお願

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力をお願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名(Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境(回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容(現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	PLANEX SMART SERVER
型番 Product No.	PLASMA 2000 pro
製造番号 Serial No.	

INTERFACE CARD

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワークOS	バージョン
OS	バージョン

保証規定

プラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

初期不良・修理依頼の手順(センドバック方式)

弊社では、センドバック(先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する)方式による修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。

プラネックスコミュニケーションズ(株) サポートセンター

フリーダイヤル・0120-415977 FAX・03-5614-1018

Web・<http://www.planex.co.jp/support/repair>

2. ご案内に従って、修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。
(誠に勝手ながら、リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担をお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1 年間
製品名	PLANEX SMART SERVER
型番 Product No.	PLASMA 2000 pro
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都 府 道 県
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社